

下	ボール紙のふだが さがって <u>い</u> ました。	9	みかんの 木の寺
	白いしょうじがき ちんとしまっ <u>て</u> て～	13	
	おこっ <u>て</u> ばかり <u>い</u> ました。	27	きかん車 やえもん
	歌を歌いながら止 まっ <u>て</u> います。	28	
	びょうきで <u>ね</u> て <u>い</u> <u>る</u> 人に～	61	小さなか みさま
	すくなひこなをま っ <u>て</u> い <u>ま</u> しが～	65	
	黒い土があらわれ るのを <u>ま</u> っ <u>て</u> <u>い</u> るのです。	82	雪国の子 どもたち
	じっ <u>と</u> 見 <u>て</u> い <u>て</u> く れるんだ。	96	おかあさ んの顔
	いっしょに <u>く</u> らし て <u>い</u> ました。	100	スーホの 白い馬
	3	こっそりとさがし て <u>い</u> たのです。	9
それがわかるとも うじっ <u>と</u> して <u>い</u> られません。		10	
ありのすからえさ のあるところまで ず <u>っ</u> とつづ <u>い</u> て <u>い</u> ます。		28	ありの行 列

上	それでもピノッキ オは知らずに <u>ね</u> む <u>っ</u> て <u>い</u> ました。	52	ピノッキ オ
	何か <u>が</u> むこうの草 むらの中で <u>鳴</u> いて <u>い</u> る様子です。	70	子どもの ころのファ ーブル
	あたりの様子をじ っ <u>と</u> う <u>か</u> が <u>っ</u> て <u>い</u> ました。	72	
	四日もむちゅうに な <u>っ</u> て <u>い</u> たことが ～	76	
	がきだ <u>い</u> しょうで い <u>ば</u> っ <u>て</u> い <u>ま</u> しが～	92	太郎こお ろぎ
	世界のどの国でも 切手が <u>用</u> いられて <u>い</u> ます。	111	切手の話
3	それで <u>い</u> て出 <u>て</u> こ られたらこまるよ うで～	33	いっばい でひとり
	しまったドアの前 に <u>立</u> っ <u>て</u> <u>い</u> ると～	33	
	うで <u>組</u> み <u>し</u> て <u>い</u> るひとりの男が ありました。	64	五色のし か
	川岸のほらあなで 休 <u>ん</u> で <u>い</u> ました。	66	
下	音もなくしずまり		アフリカ